

2024年度 寒地土木研究所一般公開開催報告

国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒冷沿岸域チーム 水産土木チーム

寒地土木研究所では、研究所の役割や研究成果を分かりやすく紹介するため、「国土交通 Day」の一環として施設の一般公開を実施しています。例年、試験研究機関や企業、国や自治体などの行政関係者はもとより、日頃、土木技術の研究に接する機会の少ない一般の方々や、家族連れの方々も多数ご来場されており、研究の一端をご覧いただいています。

2024年度寒地土木研究所の一般公開については7月19日(金)・20日(土)の2日間で開催しました。本年度は「北の知恵を生み出す寒地土木！」をテーマに、15の研究チームが「学べる」「体験できる」を通じ、研究活動や施設を紹介しました。また、例年大人気のドローン操作体験コーナーも用意しました。昨年から、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ変更されたことから、入場制限を設けない開催となり、多くのお客様が来場されました。

寒冷沿岸域チームでは「みて・ふれて学ぼう！波の不思議」をテーマに、大型平面水槽の造波装置で発生させた波を模型の防波堤に作用させる実験のデモン

ストレーションを行うとともに、数値シミュレーション動画の紹介、造波水槽による模擬的な津波の観察や流水にさわられる体験コーナーも設けました。

水産土木チームでは「海の中の土木を知ろう！」～と題して、説明用パネルによる研究の紹介や、漁港のミニチュア模型の展示、ROVによる魚礁等を撮影した映像の上映、魚礁群の粒子法による数値シミュレーションの動画等により、海の構造物に対する理解を深めて頂いたほか、北海道沿岸域に生息する稚ナマコ・エゾメバルの見学用水槽を設け、海の生き物の観察をして貰いました。

今年も多くの皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。来年もさらに充実した内容でお迎えできるよう、スタッフ一同準備を進めてまいります。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

また、技術相談についても随時受け付けております。どうぞ、お気軽にご相談下さい。

(文責：水産土木チーム 菅原)



地元小学生への説明状況



ドローン体験の状況



大型平面水層での説明状況



流水ジオラマ作りの整理券はすぐに売り切れに